

日中関係学会本部：研究会（9月28日）

「モビリティのサービス化がもたらすもの」

講師：和田憲一郎さん（株）日本電動化研究所 代表取締役

元三菱自動車の電気自動車 i-MiEV（アイ・ミーブ）開発責任者

「イノベーション都市・深圳を視察して」

講師：日中関係学会 中国ビジネス事情研究会メンバー

日中関係学会（会長・宮本雄二元駐中国大使）は9月28日（金）、東京神田・学士会館で研究会を開催します。

自動車の電動化（EV、PHEV など）やモビリティのサービス化が中国や日欧米で進みつつあり、世界の自動車産業・社会は一大変革の時代に入っています。また、新興都市の深圳にはハイテク産業が集積し、いまや中国のシリコンバレーとも呼ばれています。我々はこうした動きをどのように捉え、対応するべきか。各分野の専門家に語っていただきます。

お誘いあわせの上、是非ご参加ください。非会員の方も歓迎します。

▽日時：9月28日（金）18：00～21：00

▽場所：学士会館 202号室 千代田区神田錦町3-28 Tel 03-3292-5936

都営三田線／都営新宿線／東京メトロ半蔵門線 神保町駅 A9 出口より徒歩1分

▽テーマと講師：

①「モビリティのサービス化がもたらすもの」

講師：和田憲一郎さん 株式会社日本電動化研究所 代表取締役

（元三菱自動車の i-MiEV（アイ・ミーブ）開発責任者）

（内容のポイント）電気自動車やプラグインハイブリッド車の新エネルギー車が中国、欧州などを中心に急激に拡大している。同時に、カーシェアリング、ライドシェアサービスが拡大し、モビリティのサービス化が進もうとしています。この2つの動きが、ビジネスに大きな影響を及ぼします。それでは、自動車や関連産業に携わる方々には、どのような対応が求められるのでしょうか。講師のお考えを語っていただきます。

②「イノベーション都市・深圳を視察して」

講師：藤村幸義さん 拓殖大学名誉教授（日中関係学会 副会長）

菅野真一郎さん 東京国際大学客員教授（日中関係学会 評議員）

小山雅久さん 三菱商事調査部経済調査チーム中国特命担当（同評議員）

雷海濤さん 桜美林大学教授（同評議員）

（内容のポイント）今年8月末に当学会中国ビジネス事情研究会メンバーが深圳でDJI（ドローン）、BYD（電気自動車）、OPPO（スマホ）などの企業を視察。大小のベンチャービジネスが主導するハイテク・イノベーションセンターの現状と将来、日本がそこから何を学ぶべきかについて報告していただきます。

▽講演修了後に、会場で簡単な懇親会開催（20:40～21:00）

▽参加費（懇親会費含む）：会 員 1,000 円、 学生会員は無料
非会員 1,500 円、 学生非会員は 500 円

<講師紹介>



和田憲一郎さん 株式会社日本電動化研究所 代表取締役

（略歴）1989年に三菱自動車に入社後、主に内装設計を担当。開発車種にギャラン、FTO、米国生産のエクリプスなどがある。2005年に新世代電気自動車の開発責任者に任命され「i-MiEV（アイ・ミーブ）」の開発に着手。開発プロジェクトの正式発足と同時に、i-MiEV 商品開発プロジェクトのプロジェクト・マネージャーに就任。2009年に i-MiEV 発売後、本社にて急速充電協議会「CHAdeMO 協議会」の幹事メンバーなど、EV 充電インフラビジネスを牽引。2013年3月退社。その後、株式会社日本電動化研究所を設立し、現職。

<日本初の e-mobility コンサルタント>

e-mobility 開発にて培った経験・知見をベースに、モビリティ・エネルギー、そして家&街づくりを繋ぐビジネスの「水先案内人」として各種アドバイザリー業務を行っている。

クライアントには、自動車メーカー、自動車部品メーカー、機械メーカー、住宅メーカー、IT メーカーなどがある。

新聞・メディアに数多くコラムを寄稿しており、サンケイビジネスアイ「マネジメント新時代」、MONOist「和田憲一郎の電動化新時代！」などを連載中。「一般社団法人 自動車100年塾」代表理事も務める。

著書に『成功する新商品開発プロジェクトのすすめ方』（同文館出版）がある。



藤村幸義さん

拓殖大学名誉教授、
日中関係学会副会長、
元日本経済新聞北京支局長



菅野真一郎さん

東京国際大学客員教授、
日中関係学会評議員、
元みずほ銀行顧問
（中国担当）



小山雅久さん

三菱商事調査部経済調査
チーム中国特命担当、
日中関係学会評議員



雷海濤さん

桜美林大学教授、
日中関係学会評議員、
元東芝中国室長

~~~~~

★参加申し込み：次頁の「9月28日研究会申し込み」にご記入の上、下記メールアドレスにお送りください。早めのお申し込みをお願いします。なお、会員の方は「9月28日の研究会に参加します。氏名（会員）」のみで、メールいただければOKです。

会員、非会員の方ともに = [mitchellmimura@gmail.com](mailto:mitchellmimura@gmail.com)（三村）

<9月28日研究会申し込み>

●氏名：

●所属先：

\* 学生の方は、大学名に加え学部・研究科名、学年も記載してください。

●参加資格（以下のいずれかに○を付けてください）：

1. 会員 2. 非会員 3. 学生（会員） 4. 学生（非会員）

●連絡先（メールアドレス or 電話）：